

◆科目名Course Title			
心理学～動物と人間の行動			
◆授業担当教員Instructor			
渡邊芳之			
◆開講学期Semester	前期	◆対象学年Year	1年～
◆履修可能人数Capacity	遠隔 0人	◆単位数Number of Credits	2
	オンライン 0人	◆授業形態Type of Class	講義
	オンデマンド 30人		
	対面 0人		

◆キーワードKey Words	
行動、生得的行動、学習、条件づけ、問題行動	
◆授業の目的Course Objectives	
人間と動物の行動の仕組みについて理解する。	
◆授業概要Course Description	
動物や人間の行動が形成され、変化していく仕組みについて、生得的行動と学習される行動という視点から考える。とくに条件づけによる学習の仕組みに重点を置き、基礎的な理論を確実に学習するとともに、それが動物の行動や人間の行動の問題解決や改善にどのように応用されるかについても学ぶ。	
◆到達目標Course Goals	
1) 生得的行動と学習される行動それぞれの意義を理解する	
2) レスポンデント条件づけのしくみと意味について説明できる	
3) オペラント条件づけの仕組みと意味について説明できる	
4) 条件づけのしくみが動物や人間の行動とどのように関係しているか説明できる	
◆授業計画Course Schedule	
1	イントロダクション 心理学の歴史と現在, 行動・環境・学習
2	行動の種類 生得的行動と学習される行動, それぞれの持つ意味
3	生得的行動 (1) 反射と走性, 本能的行動, 環境と解発刺激
4	生得的行動 (2) 進化と行動, 生得的行動と学習される行動の境界
5	学習される行動 学習される行動の種類, 学習と条件づけ
6	レスポンデント条件づけ (1) パブロフと条件反射
7	レスポンデント条件づけ (2) 人間行動とレスポンデント条件づけ
8	オペラント条件づけ (1) スキナーとスキナー箱
9	オペラント条件づけ (2) 強化と罰, 弁別刺激と強化随伴性
10	オペラント条件づけ (3) 強化のスケジュールと消去抵抗
11	オペラント条件づけ (4) 人間行動とオペラント条件づけ
12	社会的学習 観察学習, モデルとモデリング
13	学習理論の応用 (1) 動物の訓練としつけ, 動物の問題行動への対処
14	学習理論の応用 (2) 行動療法と認知行動療法
15	学習理論の応用 (3) 応用行動分析と生活技能訓練 (SST)

❖成績評価Grading System
毎回授業後の小テスト（おおむね60%）および期末試験（おおむね40%）で評価する。小テストと期末試験はいずれもmoodle上で実施する。
❖テキストTextbooks
使用しない。
❖参考書Reading List
サトウタツヤ, 渡邊芳之 心理学・入門 --心理学はこんなに面白い（改訂版） 有斐閣 2019 ジェームズ・E. メイザー メイザーの学習と行動 二瓶社 2008 杉山 尚子ほか 行動分析学入門 二瓶社 1998 中島定彦 動物心理学～心の射影と発見 昭和堂 2019
❖準備学習Homework
予習：前回の「ふりかえり」を確認する。研究室ホームページで紹介された参考文献を参照する。 復習：授業のノートを確認する。とくに毎回の「ふりかえり」をよく確認する。
❖オフィスアワーOffice Hour
随時。メールでアポイントをとってください。
❖連絡先E-mail
ynabe@obihiro.ac.jp
❖質問・相談への対応方法Contact Information
メールを原則とする。
❖履修上の注意Notes
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためmoodle上でのビデオによるオンデマンド方式で開講する。アップロードされた授業ビデオはいつでも試聴することができる。ただし毎回の小テストへの回答についてはそれぞれ期限を定めるので、期限内に解答すること。
❖備考Other Information